



広島中央ロータリークラブ
2022 ～ 2023年度
事業計画書

2022-23年度 クラブ会長方針



会長 山野井 秀樹

「仲間と共に」

国際ロータリー2022-23年度会長であるジェニファー・ジョーンズ氏は、RI会長テーマを「イマジンロータリー」とし、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。

また、国際ロータリー第2710地区2022-23年度石川良興ガバナーは、ガバナー信条として「人生100年時代に向けて、健康寿命を延ばそう」～がん・生活習慣病の予防～健康寿命を延ばすことにより、5大奉仕と7つの重点分野を遂行するために必要な財団支援を行い、社会に貢献し、会員自身の成長と会員相互の親睦を育み、ロータリーの公共イメージを高め、ひいては会員の増強につなげていきましょう。と述べられました。

コロナ禍で会員同士の交流の場である例会も、ZOOMやWebといった新たな手法も取り入れながら開催してきました。私たちは、これまで経験したことがない状況下でも、前を向いて道を切り開き活動してきました。その経験により、ロータリークラブの今後に大きな飛躍と革新を感じるようになりました。2022-23年度は、最近よく耳にするDX（デジタルトランスフォーメーション）やSDGsへの対応も含め、これまで活動してきたクラブの歴史を融合させた新たな時代へ挑戦する先駆者として、広島中央ロータリークラブの歴史をしっかりと継承し、今後の発展に向け、仲間と共に動き出す年度と考え活動していきます。

【2022～2023年度 広島中央ロータリークラブ所属委員会】

■理事役員

(2022.7.1-2023.6.30)

会 長	(理事) 山野井秀樹	奉仕プロジェクト	(理事) 芥川 宏
直前会長	(理事) 大久保雅通	ロータリー財団	(理事) 長場 誠
会長エレクト	(理事) 砂田 恭延	クラブ広報	(理事) 政岡 誠二
副会長兼会員組織	(理事) 宗正 俊文	クラブ管理運営	(理事) 澁谷 紀子
副会長	(理事) 淀江晃太郎	会 計	(理事) 新宮 且識
幹 事	(理事) 好永 裕一	S.A.A.	(役員) 平瀬 春男
副幹事	大田 由孝		
副幹事	上田 恵		

■会員組織委員会

理事・委員長 宗正俊文*

*＝兼務

	委員長	副委員長	委員			
会員増強・職業分類	古澤宰治	福田 浩	赤羽克秀 小佐古哲哉	緒方俊平	橋本 満	村本憲康
ロータリー情報(研修リーダー)	三宅朗充	大坂隆志*	杉本嘉朗	赤羽克秀*	吉川修平*	宗正俊文*

■奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 芥川 宏

	委員長	副委員長	委員			
職業奉仕	鳥井均城	大井太郎*	神保 紘	村本憲康*	平松恵一	吉川修平*
人間尊重・社会奉仕	児玉哲郎	槇殿公誉	上原悠爾	土肥博雄	村上恒二	大田由孝*
国際奉仕	吉川 恵	大井太郎	河野 隆	頼岡徳在	黒瀬真一郎	山肩俊晴
青少年奉仕	宮下佳昌	嶋本文雄	原田啓吾	吉清有三*	岡田 茂	七枝敏洋*
ローターアクト委員会	大坂隆志	西井裕昭	田原榮一	下原千夏*	大井太郎*	

■ロータリー財団委員会

理事・委員長 長場 誠

	委員長	副委員長	委員			
ロータリー財団・米山奨学	西川 済	吉川修平	杉本嘉朗*	出崎邦彦	河野 隆*	七枝敏洋*

■クラブ広報委員会

理事・委員長 政岡誠二

	委員長	副委員長	委員			
公共イメージ	城本健司	大内総一郎 下原千夏	河野 隆* 池田繁実*	徳見泰司* 上田 恵*	福田 浩* 石原 健*	新宮且識* 槇殿公誉*

■クラブ管理運営委員会

理事・委員長 澁谷紀子

	委員長	副委員長	委員			
出席	七枝敏洋	吉清有三	迫田勝明	通谷 章	城川大二郎	上田 恵*
親睦	石原 健	鳥井均城*	土谷治子 高蓋寿朗 猪垣耕一 大本恭久	西川 済* 加藤孝子* 金光栄吉 馬野恭彰	西川公一郎* 宮下佳昌* 水野和穂	小林正夫* 槇殿公誉* 西村正司
プログラム	加藤孝子	池田繁実	黒瀬真一郎*	戸田幹雄*	田中純子	
S. A. A.	平瀬春男	宮下佳昌*	吉川修平*	土谷治子*	西井裕昭*	岡田 茂*
会計	新宮且識	徳見泰司	小佐古哲哉*	大内総一郎*		

特別委員会

	委員長	副委員長	委員			
国際交流基金特別委員会	山野井秀樹*	好永裕一*	出崎邦彦* 新宮且識*	吉川 恵*	砂田恭延*	下原千夏*
戦略計画委員会	藤村欣吾	戸田幹雄	田原榮一*	大久保雅通*	三宅朗充*	西井裕昭*
がん予防啓発推進委員会	小林正夫	西川公一郎	平松恵一* 土谷治子*	土肥博雄*	村上恒二*	山肩俊晴*

- 会計監査委員 赤羽克秀
- 合同事務局運営委員 好永裕一

会員組織委員会

理事・委員長 宗正 俊文



1. 方針

会長方針である「仲間と共に」を踏まえ、会員組織委員会の活動を展開してまいります。

また公共イメージ委員会とも協力しながら、公共イメージを高められるようなロータリー情報発信をし、そして一緒に活動できる仲間を増やしていきます。

まだコロナ禍は続きそうですが、前を向いて切り開き仲間と共に活動できるようにしていきたいと思います。

2. 計画

- ① 会員数純増3名を目標として会員拡大に取り組みます。
- ② 公共イメージを高められるような、ファイヤーサイドミーティングやクラブ研修セミナーの実施

会員増強・職業分類

委員長 古澤 幸治



1. 方針

会長方針である「仲間と共に」を踏まえ、会員増強・職業分類委員会の活動を展開してまいります。

コロナ禍での会員増強は厳しいとは思いますが、会長・幹事・理事と連携をとりながら新会員を増すと共に、会員相互の連携を深め、既存会員の退会を防ぐことにより、広島中央ロータリークラブの活性化につなげて行きたいと思います。

また、会員増強に関して、単純に増やす事ではなく、5年後、10年後に広島中央ロータリークラブが繁栄する一助になる様な新会員の増強に努めていきたいと思います。

2. 計画

- ① 会員数純増3名を目標として会員拡大に取り組みます。
- ② 会員相互の連携を密にし、退会予防に力を入れてまいります。
- ③ 職業、年齢及び性別に偏りが無いよう、会員増強に取り組みます。
- ④ 入会候補者の例会への招待、入会後のフォローアップに取り組めます。

3. 予算 50,000円

ロータリー情報

委員長 三宅 朗充



1. 方針

会長方針である「仲間と共に」を踏まえ、新入会員の方々へわかりやすいロータリー情報を提供します。

3年未満会員の皆様には、ロータリーへの理解と魅力を深めていただけるよう、戦力計画委員会と連携し活動します。

2. 計画

- ① 入会予定者へは、推薦者と訪問しロータリーを楽しくわかりやすく理解していただくインフォメーションを実施します。入会後も継続してフォローします。
- ② 新会員を対象に、ロータリーの基礎知識を楽しく学んでいただけるように、少規模でのファイヤーサイドミーティングを実施します。
- ③ 戦略計画委員会と連携し、入会3年未満会員の方々に対象に、ロータリーの原点でもあります「奉仕と親睦」について、楽しく交流を深められるクラブ研修セミナーを実施します。
- ④ RIの情報を例会等で報告しHPにも掲載していきます。
- ⑤ コロナウィルス感染症の中で、ロータリー情報委員会としての活動を検討して参ります。

3. 予算 100,000円

奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 芥川 宏



1. 方針

会長方針「仲間と共に」を踏まえ、広島中央ロータリークラブが取り組んで来た奉仕活動を継承しつつ、今後の会員及びクラブの発展のために、コロナ禍収束も見据えながら、会員が一致協力して、さまざまな奉仕活動に取り組んでいけるようにしたいと考えます。

2. 計画

- ① 職業奉仕委員会では、職業を通じ仲間と共に奉仕を行う時間が持てるよう、例会時の「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の唱和、職場訪問例会の実施、会員卓話の実施、健康診断の斡旋、優良従業員表彰を行います。
- ② 人間尊重・社会奉仕委員会では、コロナ後も見据えつつ、地区補助金事業の実施、献血支援活動及びマイカー乗るまあのデーの実施、平和祈念式典参加者へのおもてなし事業の実施、こども食堂への支援、地域社会でのがん予防普及推進を行います。

③ 国際奉仕委員会では、古切手・書き損じハガキの収集の継続、姉妹クラブとの交流のほか、将来のグローバル補助金へ向けケニアNGOへの支援活動を行います。

④ 青少年奉仕委員会では、RYLA地区大会への参加を呼びかけ、また、コロナが収まってくれば学生ボランティアなどと共に奉仕活動を行っていきます。

⑤ ローターアクト委員会では、広島中央ローターアクトクラブが設立5年を経過し地区代表輩出を終えた段階を踏まえ、同クラブの継続可能にするための人的基盤強化・活動の見つめ直し等を行います。

職業奉仕

委員長 鳥井 均城



1. 方針

職業奉仕の立場から、山野井会長方針の「仲間と共に」を実践するために、会員が各々の職業や社会生活を通じて、職業奉仕とは何かを模索し、それぞれの職業を通じた地域社会へ「仲間と共に奉仕を行っている」という実感が少しでも持てるような取り組みを行いたい。

2. 計画

- ①ロータリーの倫理基準であり、職業奉仕の実践的指標である「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の唱和をそれぞれ毎月交互に、委員会全員で実施する。
- ②職業奉仕月間に職業奉仕に対する理解を深めるための職場訪問例会を実施する。
- ③ロータリーの職業倫理を学び合う機会として、会員卓話の実施をする。
- ④職業奉仕の原点である会員の健康の保持増進のため、健康診断の斡旋を行う。
- ⑤会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集と表彰を行う。

3. 予算

一般会計 100,000円
ニコニコ会計 100,000円

人間尊重・社会奉仕

委員長 児玉 哲郎



1. 方針

コロナ禍で会員同士の交流の場、奉仕の場が制限される中、コロナ後の新たな時代へ挑戦する先駆けとして、会長方針である「仲間と共に」を踏まえクラブの発展をめざして、以下の計画を達成する。

2. 計画

- ①地区補助金を活用し、広島県立広島南特別支援学校(聴覚障害)に地区補助金39万円とクラブ資金209,720円合計599,720円で高等部の希望品を贈呈し、交流を深め聴覚障害者の自立と社会参加へ向けての貢献を行う。
- ②当クラブの主要事業である献血支援活動を継続して行うとともに、過去3年間コロナ感染の拡大により実施できなかった脱炭素社会実現の啓蒙活動「マイカー乗るまあデー」キャンペーンを実施する。
- ③8月6日平和祈念式典の参加者に対するおもてなし事業を継続して行う。
- ④コロナ禍でなお一層の支援が必要となっている「こども食堂」に対し過去支援を行ってきたが、今後も支援を求める団体に対し支援を行う。
- ⑤がん予防推進委員会と連携して、地域社会でのがん予防普及の推進を行う。

3. 予算

総額1,600,000円

国際奉仕

委員長 吉川 恵



1. 方針

会長方針である「仲間と共に」に基づき独自性を生かす奉仕活動に取り組みます。

また、国際社会に対し、7つの重点分野の活動を行うことで、健康、教育、青少年育成、交流の促進に関する貢献を行い、将来へ向けた社会づくりやSDGsに寄与することを基本方針とします。

従来から取り組んでいる国際奉仕活動の継続と、クラブ内や他クラブ・団体との連携事業の実施に向け検討します。

2. 計画

- ①古切手、書き損じはがき等の収集の継続
発展途上国の女性や子供たちを支援する国際奉仕活動を行います。
- ②将来のグローバル補助金へ向けた活動として、2年間継続し交流があったケニアのNGOへわがクラブ独自での支援活動を継続します。この活動は人間尊重・社会奉仕委員会と連携して行います。
- ③姉妹クラブ、他クラブとの交流・連携
台中市西区ロータリークラブとの交流ならびに他のクラブと連携した奉仕事業を検討します。

3. 予算 300,000円

青少年奉仕

委員長 宮下 佳昌



1. 方針

会長方針に沿って、ロータリー青年指導者養成プログラム(RYLA)を学び、会員・青少年・ローターアクトクラブ、ローターアクト委員会と共に連携を図り活動して参ります。関係する人々が、楽しく奉仕活動を行い、より良い地域社会への一助となるよう目指します。奉仕プロジェクト委員会内の委員会と連携し事業への協力を行います。

2. 計画

- ①2010年から継続しています「献血支援活動、マイカー乗るまっデーPR活動」を、会員・会員家族・ローターアクター、会員の従業員の皆さん、学生ボランティアの皆さんとの絆を大事にし、共に協力して行います。
- ②ローターアクトクラブ例会・RYLAに参加し、青少年奉仕について効果的な活動を検討します

3. 予算

一般会計 100,000円
ニコニコ会計 200,000円

ローターアクト

委員長 大坂 隆志



1. 方針

広島中央ローターアクトクラブは、本年度で6年目を迎え9名でスタートします。コロナ過で対面での委員会・事業が難しいことも踏まえ、今一度、「仲間と共に」自分たちのローターアクトクラブについて見つめなおし、我々提唱ロータリークラブと共に、目標を達成できる活動となるよう努めてまいります。

2. 計画

- ①我々提唱ロータリークラブとの親睦を更に深め、ローターアクトクラブの継続可能な活動の見直しを行う。
- ②ローターアクトクラブの会員増強に努める。

3. 予算 1,000,000円

ロータリー財団委員会

理事・委員長 長場 誠



1. 方針

当委員会では、会長方針「仲間と共に」に則って、以下のロータリー財団、ロータリー米山記念奨学会の目的を達成するための活動を行う。

(ア)ロータリー財団

ロータリー財団は、1917年、アーチ C. クランフ国際ロータリー会長が、「世界でよいことをするために」基金の設置を提案したことに始まり、ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目的としている。そして、この目的を達成するため、世界の人道的需要や平和に貢献していく若者を育成するため、奨学金を提供する等の活動を行っている。

(イ)ロータリー米山記念奨学事業

ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団であり、母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する人材を育成する目的を有する。

2. 計画

(ア) 寄付

以下の寄付について理解していただくための活動を行う。

- a 年次寄付(世界中の地域社会における、平和の推進、

水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動のための寄付)

b ポリオプラス基金(ポリオ(脊髄性小児麻痺)は、身体麻痺の後遺症をもたらす、時として命さえも奪う伝染病である。この基金は、ポリオを世界から根絶するという目標を達成するために利用される。)

c その他、恒久基金への寄付、補助金プロジェクトへの寄付

d 米山基金(普通寄付金—日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的に行う寄付。特別寄付金—個人、法人、またはクラブから、普通寄付金以外に任意でいただく寄付金。)

(イ) 米山月間、ロータリー財団月間

a 米山月間

毎年10月は「米山月間」と定められている。クラブではこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をしなければならない。そのために米山奨学生や地区役員・委員の卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムを開催したりする等の活動を検討する。

b 財団月間

毎年11月は「ロータリー財団月間」と定められている。そこで以下のいずれかの内容のテーマを取り上げる予定である。寄付推進、グローバル補助金、地区補助金、ポリオプラス、財団の資金モデル、クラブによる財団補助金管理(クラブの覚書)、財団補助金による奨学金制度(グローバル奨学生、平和フェロー)

(ウ) グローバル補助金、地区補助金

関係各位と協議しながら進めていく予定である。

ロータリー財団・米山奨学

委員長 西川 済



1. 方針

(ア) 会長方針である「仲間と共に」を念頭において活動する。

(イ) ①「世界でよいことをしよう」という目的をもって設立されたロータリー財団、及び、②母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生の援助を目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めてもらう。

2. 計画

(ア) 寄付目標

- a 年次寄付150ドル/人
- b ベネファクター1人/クラブ
- c ポリオプラス30ドル/人
- d 米山基金16,000円/人
- e 米山学友会賛助会員 50%/クラブ会員

(イ) 定例会の委員会報告

a ロータリー財団及び米山記念奨学会の情報を提供する。

ロータリー財団について、ポリオプラスをはじめ世界でよいことをしている事例を紹介する。また、グローバル補助金の獲得に向けて諸手続を行うとともに、実際に補助金を獲得した他クラブの活動事例を報告する。

b ロータリー財団室News、ハイライト米山を配布する。なお、クラブHP上にデータをアップして活用しやすくする。

c 愛のコイン箱のお願い

d 定期的に寄付先、寄付理由等を例会等で報告し、会員に寄付に対する理解を得ることができるようにする

(ウ) 米山月間(10月3日)

a 比治山大学のホアン ティ ハインさんの卓話を行う。また、直近の米山記念奨学会の情報を提供する。

b 米山功労者の募集(1名)。

(エ) ロータリー財団月間(11月7日)

a 例年どおり、ポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェロー認証促進運動を実施する。5名を目標に協力要請を行う。

b 財団に関する卓話(クラブフォーラム、ポリオの説明、グローバル補助金の説明、財団ビデオ視聴等)を行う。本年度は11月の在団月間とは別に同月に連続か5月頃の2回を予定する。

(オ) グローバル補助金

新規のグローバル補助金獲得に向けてクラブで協議する。

(カ) 地区補助金

広島南特別支援学校への学業・運動支援事業と次年度からの地区補助金対象事業の立案について奉仕プロジェクト委員会をサポートするとともに、地区補助金の給付を受ける。

3. 予算 50,000円

クラブ広報委員会

理事・委員長 政岡 誠二



1. 方針

クラブ広報委員会では、今年度より新しく設立された委員会「公共イメージ委員会」として一つに集約されます。会長方針である「仲間と共に」を踏まえ、委員会のメンバー全員参加で話し合いながら楽しく、新しい委員会を作り上げ、また次年度につながる公共イメージ委員会の元年にしたいと思います。

また他の委員会とも連携をして、広島中央ロータリークラブの活動状況をクラブの内外に発信していきます。

2. 計画

・「ロータリーの友誌」の記事紹介を月1回持ち回りで紹介する。

・写真撮影は当番を決めて持ち回りで担当する。

・当クラブの様々な活動記録はHPにタイムリーに更新し、情報発信をするとともにHP内で資料保存する。

・当クラブの奉仕活動の情報を早めにマスメディアに提供する。

・当クラブの奉仕活動の情報をロータリーの友誌に投稿する。

・マイロータリーへの登録・利用促進を図る。

・当クラブ及びロータリークラブの認知向上、公共イメージ向上に繋がるように各委員会と連携し、奉仕活動及び委員会活動の報告内容をメインに編集された会報誌を作成する。主にHPに掲載し、一定数をクラブ内外に配布する。

公共イメージ

委員長 城本 健司



1. 方針

会長方針の「仲間と共に」に沿い、好意と友情を深めるクラブ内広報と、対外的な広報活動を通じて当クラブのイメージアップを図ります。

2. 計画

①会報誌(名称を「クラブ通信(仮称)」に変更)：

奉仕活動、委員会活動、または同好会活動の中から毎月又は隔月に1回、テーマを1つだけ選んで、A4サイズ1枚程度にコンパクトに纏めて作成します。

内容は、担当委員会、または担当同好会で原稿を作成して、松井印刷で校正していただきます。

②広報：当クラブの奉仕活動について、事前に情報を取り

纏めてメディアに提供し、できるだけ多くのメディアに取り上げてもらえるように努め、より広くタイムリーな情報発信を行っていきます。

③IT：当クラブの様々な活動をHPにタイムリーにアップしていき情報発信していくとともに、資料保存を行っていきます。

・HP用及びクラブ通信用に、各活動では委員会メンバーが中心となって写真を撮影する。

・画像の撮影方法やHPへの掲載方法のルールを決めます。

④MY ROTARY：MY ROTARYへの登録・利用を促進していきます。MY ROTARYの利用を通じて国際ロータリーの活動をクラブ内にも広めていきます

新たな委員会ですので、まずは上記を実行してみて、6ヶ月経過後に会員のみなさんの意見を伺いながら調整していきます。

3. 予算 3,436,000円

クラブ管理運営委員会

理事・委員長 澁谷 紀子



1. 方針

「仲間と共に」という会長方針を踏まえ、各委員会の委員同士はもちろん、クラブ管理運営委員会としても委員間で情報を共有し、協力して例会や様々な行事の遂行に努めたいと思います。

入会直後からのコロナ禍により、様々なロータリー活動未経験の会員もおられるので、委員全員でフォローしながら取り組んで参ります。

2. 計画

・出席委員会

例会時の出席報告は委員全員で連携して行います。

出席率100%を目指し、メイキャップの案内をeクラブも含めて行います。

・親睦委員会

今年度は、花火大会の中止に伴い夏の夜間家族例会も野球観戦例会もありません。代わりに会員・家族の親睦を深めるために納涼夜間例会を行います。

例会時は、来客の案内等SAA委員会と共に全員で協力して行います。

・プログラム委員会

会員リレー卓話も継続しつつ、状況によって外部卓話も依頼します。

外部卓話は幅広い分野の方々をお願いしたいと思います。

・SAA委員会

例会時は親睦委員会と協力して、会員もゲスト・来客も楽しく過ごせる様努めます。

会員に進んで投稿して頂ける様なニコニコ箱を目指します。

・会計委員会

会長・幹事・各理事と連携して予算編成します。

委員会内でも情報を共有しながら理事会と連携して、予算に沿った円滑なクラブ事業運営に努めます。

出 席

委員長 七枝 敏洋



1. 方針

会長方針「仲間と共に」に基づき、会員の皆さんが例会に楽しく参加できるようにSAA・親睦委員会の委員の皆さんと連携して、出席率100%が維持できるように進めていきます。

やむを得ず例会を欠席された会員には、メイキャップ等の案内の連絡を取らせていただきたいと思います。

毎週の出席報告は、委員全体で連携を取りながら進めていきます。

2. 計画

①例会での出席報告を速やかに行えるように、委員間での連携を取ります。

②月末の例会時の出席報告の際には、興味を持っていただけるよう、翌月の行事案内も行いたいと思います。

③例会を欠席された会員には、メイキャップの案内と共に、eクラブの案内もしたいと思います。

3. 予算 200,000円

親 睦

委員長 石原 健



1. 方針

会長方針「仲間と共に」に基づき、クラブ活動が楽しく活力あるものとなる様、そして奉仕活動の活力となる様、取り組んで参ります。

会員同士の親睦を今まで以上に深め、相互理解を深める為に、親睦会・家族会・新入会員歓送迎会等、コロナ感染防止徹底を最大限に図りつつ、運営に尽力して参ります。

一年間を通じ、たくさんの笑顔を生み出す様、親睦委員会

の皆さまのご協力を頂きながら、積極的に活動して参りたいと思っております。

2. 計画

- | | |
|-------------|------------------|
| ① 7月30日土曜日 | 納涼家族例会 |
| ② 10月28日金曜日 | 夜間例会(3RC合同) |
| ③ 11月28日月曜日 | 夜間例会(創立44周年記念例会) |
| ④ 12月24日土曜日 | 夜間家族例会(クリスマス会) |
| ⑤ 4月29日土曜日 | 在広RCゴルフ大会 |
| ⑥ 6月26日月曜日 | 最終夜間例会(点鐘引継) |
| | 新入会員歓迎会 随時開催 |

3. 予算

夜間例会・家族会等補助	3,900,000円
会員記念日費用	800,000円

プログラム

委員長 加藤 孝子



1. 方針

会長方針を基本として会員に有意義で楽しい例会プログラムを実践して参ります。

例会プログラムを通じてより深く会員の事を理解し仲間との親睦を深める事のできるよう運営して参ります。

2. 計画

①卓話者は会員内外で幅広い分野で想定致しております。

②広島中央の新入会員の方々には従来通り卓話を必ずお願い致します。

③通常例会では、各自の自由なテーマで会員リレー卓話を継続して参ります。

又、会員相互の絆がより深くなるよう計画、実行して参ります。

3. 予算 500,000円

S.A.A.

委員長 平瀬 春男



1. 方針

会長方針「仲間と共に」を念頭に置き、会員の皆さま及び、ゲストとしてご出席頂いた皆さまが、快適に楽しく参加頂ける例会を運営していきます。

2. 計画

- ①例会でのゲスト来客へのおもてなしを親睦委員会と協力して対応していきます。
- ②会員同士が楽しく参加できるような例会を心掛けます。
- ③ニコニコ箱が例会運営において、大きな役割の一つである事を理解して頂き、会員の皆さまが進んで投稿して頂けるよう運営していきます。
- ④執行部や他の委員会と連携し、共働して進めていきます。

3. 予算 130,000円

会 計

委員長 新宮 且識



1. 方針

予算編成の段階から会長・幹事・各理事との連携を図り、予期せぬ事態にも柔軟に対応できるよう計画を立てていきたいと思ひます。

また、会計委員会全員で情報の共有をしていきます。

2. 計画

各委員長には、2020-2021年度・2021-2022年度の決算報告書を参考に予算を立てていただき、各理事と共に事業計画に基づいた予算が組まれているかを確認して、予算に沿った円滑な運営に努めたいと思ひます。

国際交流基金特別委員会

委員長 山野井 秀樹



1. 方針

当委員会は1988年に設立され、現在は1,000万円の基金となっています。預金金利息を使い国際交流への援助のための拠出の受け入れ、出金をすることが定められています。

しかし、昨今の金融情勢では預金利息は僅少であり、本来の目的にかなう活動は難しい状況である。今後の委員会の在り方について今一度協議してみたいと思ひます。

2. 計画

規約の改正を含め基金本来の目的について検討する。

戦略計画委員会

委員長 藤村 欣吾



1. 方針

会長方針に則り、「仲間と共に」時代の流れを読み解き中長期的なロータリー活動を提案してゆく。

2. 計画

- 1) 既存の奉仕活動の見直し：存続、改訂、終了を含めて検討する
 - ・マイカー乗るまゝデー
 - ・化石燃料削減の取り組みについて再検討
- 2) 人生100年時代に向けて健康寿命の延伸を目指し「がん予防新12か条プラス」を包括した健康づくりを長期的事業として検討する。
がん予防推進委員会との連携が必要
- 3) 2030年から変革されるロータリーに対しての本クラブでの対応をいかにするか検討を開始する。
- 4) それに向けて本委員会の構成、今後の在り方、役割を再検討する

3. 予算 50,000円



1. 方針

がん(悪性新生物)は本邦死亡原因の第一位であり, 全死亡者数の30%弱を占めている。従って, がんの予防啓発を推進することは非常に重要である。本クラブでは数年にわたり, がん予防啓発推進に積極的に取り組み, アンケート調査から, がん二次予防としてのがん検診率の向上に取り組んでいる。2019年度のがん検診率は本人ならびに家族では80%以上となり, 取り組みの成果が認められている。しかし, 新型コロナウイルス感染症の大流行により, がん検診を受けた受診者数はコロナ前の2019年と比較すると10%以上の減少が認められている。また, 生活様式にも大きな変化みられていることから, コロナ以前とコロナ流行時におけるがん検診ならびに生活習慣に対して, アンケート調査による再評価を行い, 過去5年間の調査と結果と比較しながら, がん予防に対する意識と生活習慣の問題点を把握し, 予防啓発の向上を目的とする。

2. 計画

1. 過去4回のがん予防啓発推進アンケートに基づいたコロナ流行時での再調査と解析
2. 解析結果に基づいた問題点提起と具体的予防推進活動
3. がん予防とがん患者支援に関する卓話の企画
4. がん予防講演会ならびに新しいがん予防検査に対する取り組み等の企画

3. 予算

卓話・講演会講師料: 40,000円

調査印刷費: 20,000円

郵送費: 20,000円

合計: 80,000円